

平成20年度「水・土壤環境保全功労者表彰」受賞者一覧表

(団体:20団体)

推薦者	名称等	主な功績
岩手県	おおつちちょうりつこづちしようがっこう 大槌町立小鎌小学校	平成元年から19年間継続して、水生生物調査を実施し身近な河川の自然観察を行うとともに、学校前の川には、ホタルの里の看板を設置し、幼虫をふ化させて放流し、生育のために河川清掃を行い成果を上げるなど、河川愛護思想の育成、普及に努め、後輩に引き継ぎ、水環境保全に多大な貢献をしている。 また、これらの功績が認められ、河川愛護団体感謝状(知事)及び環境保全活動表彰(知事)を受賞している。
	ゆみてがわゆいねっとわーく 弓手川結いネットワーク	平成15年の設立以来、他の地域の環境保全活動団体との交流を図りながら、将来を担う子供たちに、千厩川(弓手川)を「ホタルの飛び交う」きれいな川で残すため、河川の清掃活動等に積極的に取り組み、水質保全に対する意識の高揚を図るなど地域における千厩川の水質保全活動の中心的役割を担っており、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
宮城県	うちかわふるさとほぜんたい 内川・ふるさと保全隊	平成14年2月の設立以来、毎年継続して内川の清掃活動や除草活動を実施するとともに、内川動植物生態調査や研修などの実施といった活動をとおして、河川環境の美化意識の高揚を図るなど、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
茨城県	とくていひえいりかつどうほうじん みずべきばんきょうかい 特定非営利活動法人 水辺基盤協会	平成8年2月より、霞ヶ浦の清掃活動を実施し、その後、「霞ヶ浦クリーン大作戦53PickUp(ごみピックアップ)!」として、参加者が自ら参加費を支払い、回収したごみ処分費を負担するという方法で、霞ヶ浦の不法投棄物の除去等を行う清掃活動を年2回主催するなど、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
群馬県	しぶかわかんきょうふおーらむ しぶかわ環境フォーラム	平成15年に設立されて以来、市街地に近接する数少ない田園地区(中村・八木原たんぼ)において、地区内を流れる茂沢川河川敷等の清掃活動を毎年数回行うとともに、現在は、市内の水環境(河川、湧水、滝等)の調査を実施するなど、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
	ぎょうにんぬまをきれいにするかい 行人沼をきれいにする会	行人沼の地権者の雄志による団体で、会としての発足は平成17年だが、県の自然環境保全地域に指定(昭和53年)される前から、沼周辺の清掃活動等の環境保全活動に尽力するなど、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
埼玉県	わこうしぜんかんきょうをまもるかい 和光自然環境を守る会	平成8年の会の発足以来、越戸川の清掃活動を継続し、現在も「水辺の里親」として水辺環境の改善に大きく寄与している。さらに市や県との積極的な情報交換・提案を通じ、親水施設の整備や水環境保全の普及啓発イベントを実現し、市民と行政のパイプ役となるなど、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
	おおみやかせんあいごかい 大宮河川愛護会	平成9年度より、江戸川河川事務所の綾瀬川清流ルネッサンス事業で、水質調査、クリーン作戦、河川愛護モニター等に継続的に参加・協力するとともに、県の「彩の国水すましクラブ」「埼玉県河川浄化団体連絡会」会員として、河川美化活動や啓発事業等に積極的に参加。特に、平成18、19年度の生活排水対策事業「綾瀬川ワースト1ことん脱却大作戦」では、中心メンバーとして精力的に活動するなど、地域における活動を通じ、水環境保全に多大なる貢献をしている。
千葉県	だいせいせんのわきみずをふくげんし しゅうへんのしぜんかんきょうをまもるかい 大清泉の湧水を復元し、周辺の自然環境を守る会	坂川水系の源泉となる大清泉湧水について、湧水を守るため周辺の人々が活動を始め、当初より、自然環境保全のために地域住民で清掃活動や湧水周辺の整備、環境学習をとおして湧水を保全する活動を実施してきた。また、貴重な湧水を守る団体の一つとして、全国川会議において優良事例として紹介された坂川の源流域において水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。
新潟県	うおのがわをはぐくむかい 魚野川を育む会	川に親しみやすい活動を通じて、ゴミの除去、植栽、稚魚の放流等により環境保全に努め、「水のおいしさ」「水の大切さ」を伝えるとともに、手作りいかだによる川下り大会を実施し、魚野川への住民の関心を高め、川を守る活動に繋がるように努めるなど、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
富山県	くろべがわせんじょうちけんきゅうじょ 黒部川扇状地研究所	名水百選の一つである「黒部川扇状地湧水群」を生み出す黒部川扇状地を舞台に、水環境をはじめ、地学、歴史、地域社会など広範にわたる調査研究を実施している。特に水環境については、開所から30年以上にわたり黒部川や湧水群等に関する調査研究や講演会を開催するなどの普及啓発活動を行うなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。
石川県	さくらしようずほぞんかい 桜生水保存会	史跡や自然が多く、たくさんの人々が散策に訪れ“憩いの場”となるなど、地域のシンボル的存在となっている生水の水辺環境の保全のため、清掃活動を実施するとともに、水を汲みに訪れた人々に水環境保全の重要性を啓発するなど、地域にとっての貴重な水環境の保全に多大な貢献をした。
長野県	とくていひえいりかつどうほうじん ながのけんみずべかんきょうほぜんけんきゅうかい 特定非営利活動法人 長野県水辺環境保全研究会	犀川河川敷のコムラサキの集団生息地の保護活動を継続し、生息地の観察道の整備や、特に生息地内に繁茂するアレチウリの駆除を各種団体等に呼びかけ継続的に実施するとともに、河川環境の調査研究を実施するなど、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
静岡県	せんげんたいしゃせいねんかい 浅間大社青年会	湧玉池は、外来種の藻類が大量に発生し、本来の植生である「バイカモ」が絶滅の危機に瀕していた。これら外来種の除去や清掃活動を実施するなど、地域の水環境の保全に多大な貢献をした。

推薦者	名称等	主な功績
奈良県	ごせしちいきふじんだんたいれんらくきょうぎかい 御所市地域婦人団体連絡協議会	環境美化運動、特に葛城川での清掃活動により、水質および河川の環境改善に寄与するとともに、大和川清流ルネッサンス活動の一環としておこなわれている啓発活動により、小学生などへの環境活動の推進を図ったり、アクリルたわし講座および普及啓発活動を奈良県下で開かれるイベントで実施するなど、水環境保全の普及啓発及び地域の水環境の保全に多大なる貢献をしている。
	ごせしりつくずちゅうがっこう 御所市立葛中学校	曾我川に棲息する生き物調査を契機に様々な活動を通して、生徒に「人と生き物の関係」の総合学習や水環境をより大切にする意識の改革を図るとともに、多くの専門家や地域住民との交流がはかられるなど、水環境の実態等の把握に努めるとともに、水環境の保全に取り組んでいる。
福岡県	ひこさんがわゆめのかい ひこさんがわ夢の会	毎年に渡り、毎月1回、彦山川河川敷の河川清掃や地元小・中学校の生徒を対象にした河川の水質検査、河川清掃、鮭の稚魚放流を行うことにより、子どもの頃から自然環境・水の大切さに気づいてもらう活動を継続するなど、水環境保全の普及啓発及び地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
大分県	やはたしそんたんけんたい やはた自然探検隊	祓川の河川流域全体の環境を把握するためにオオイタサンショウウオ、水生生物、植物や節足動物等の観察会を専門家の指導を受けながら行うとともに、祓川上流の水源地(柞原神社の森)での土壤調査(生物調査)、清掃等を行うことにより、祓川の水質保全に対する意識の高揚を図るなど、水環境保全の普及啓発に多大な貢献をしている。
	かつらがわをみらいへつなぐかい 桂川を未来へつなぐ会	豊後高田市域の大部分を流域とする桂川の河川清掃、水辺に親しむ生物調査など、水質保全に対する意識の高揚を図ることにより水環境保全の普及啓発に多大な貢献している。
鹿児島県	ざいだんほうじんかごしまけんかんきょうぎじゆつきょうかい 財団法人 鹿児島県環境技術協会	昭和49～52年にかけて鹿児島湾水銀汚染魚原因究明調査、昭和49年から県の公共用水域に係る環境基準類型指定調査及び常時監視調査を通じて鹿児島県の水質保全行政の推進に大きく寄与するとともに、昭和50年(初版)の「環境問題に係る諸規制等一覧(水質編)」の発行・配布などにより、水環境保全に関する普及啓発及び水環境行政の推進に多大な貢献をしている。

平成20年度「水・土壤環境保全功労者表彰」受賞者一覧表

(個人:8名)

推薦者	名称等	主な功績
茨城県	みき ひろみち 三木 廣通	昭和45年4月に浄化槽の維持管理や清掃等を主とする会社に入社し、知識・技術の習得に努め、平成11年に代表取締役に就任。入社以来、38年の長期にわたり、地域住民に対して清掃及び維持管理の重要性を訴え、積極的に浄化槽の普及、啓発に尽力し、水環境の保全に大きく貢献している。 なお、これらの長年の功績に対し、(社)茨城県水質保全協会理事長表彰、(社)全国浄化槽団体連合会会長表彰等を受賞している。
富山県	ゆうき しげひろ 結城 茂博	江戸時代に北陸街道を行き来した旅人のどを潤す休憩所であった「箱根の清水」(平成18年4月に「とやまの名水」に選定)は、平成9年に水飲み場のほか水琴窟※などとあわせて整備、復元された。以来、10年以上にわたり、自主的に週1回～2回の頻度で水飲み場や周辺環境の清掃、水琴窟の維持管理を実施するなど、貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。 ※ 日本庭園の装飾のひとつで、水の滴りを利用して、琴のような音を土中のかめの中で出す音具
静岡県	とみなが つるひと 富永 鶴人	平成6年より、三島市環境監視モニターとして、ボランティアで河川及びその周辺地域の環境の監視や清掃活動を実施するなど、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
大阪府	たむら みつのぶ 田村 光延	水質保全と府民生活環境の向上に寄与することを目的として設立された、社団法人大阪府環境水質指導協会の理事(平成13年5月から現在まで就任)として、適正な浄化槽の施工と維持管理の推進、合併浄化槽の普及・促進等の活動を行うとともに、施工管理の有資格者として、適正な浄化槽の施工を現場で指導し他の模範となるなど、生活排水対策に尽力することにより、水環境の保全に関する普及啓発及び地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
徳島県	つつみ みねお 堤 岑生	徳島県庁在籍中から県内の地下水保全行政の第一人者として活動し、特に昭和44年の「吉野川下流地域地下水利用対策協議会」の設立や昭和58年の「徳島県地下水の採取の適正化に関する要綱」の制定を中心となって実現させるとともに、退庁後も、「全国地下水利用対策団体連合会」特別顧問、「吉野川下流地域地下水利用対策協議会」顧問、「吉野川資料研究会」委員を勤めるなど、県下の地下水保全対策を指導するなど、水環境の保全に対する長年の功績は非常に多大である。
熊本県	よこやま くみこ 横山 久美子	平成14年より天草市生活排水対策普及啓発指導員として、毎月、生活排水等の河川への影響を観察するための川の水質調査、アクリルタワシの作成、配布による使用推進、合併浄化槽普及・促進の実施など、指導員として積極的に活動するとともに、地域住民と地元小学校合同での水の観察会の企画など、幅広い積極的な活動により、水環境の保全に関する普及啓発及び地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
鹿児島県	いわた じろう 岩田 治郎	昭和48～57年、水産試験場において鹿児島湾の漁場や藻場の水質の研究に携わり、その研究成果が水質汚濁が懸念される鹿児島湾の環境管理計画「鹿児島湾ブルー計画」の推進への寄与、また、昭和57～60年、富栄養化が懸念される池田湖や鶴田ダムの窒素、りんの環境基準の類型指定や世界的に貴重な池田湖の水質管理計画策定に中心となって携わるなど、水質保全行政の推進に尽力するとともに、NPO等との連携による河川等の水質浄化にも積極的に取り組むなど、地域における水環境保全活動の推進に多大な貢献をしている。
静岡市	いわほり けいすけ 岩堀 恵祐	生活排水で汚れた都市河川の浄化について、市民、事業者、行政が一体となって取り組み、よりよい水環境の実現を図るために組織された静岡市水環境パートナーシップ検討委員会(平成15～18年)の委員長として水環境保全目標の策定に携わるとともに、静岡県の佐鳴湖浄化対策委員(平成14年～現在)として河川の浄化対策に尽力するなど、水環境の保全に多大な貢献をしている。また、「水と生活」(平成10年静岡県民カレッジ)、「身近な水環境を守るために」(平成15年静岡市PTA)等の講演活動を行うなど、水環境の保全に関する普及啓発にも多大な貢献をしている。